

東海市スポーツ推進計画

③「スポーツ指導者バンクプロジェクト」

1 目的

スポーツに関する指導者を探している団体と指導者をつなぎ、スポーツ活動が継続的に行われている状態を目指す。

地域や学校、職場、各種スポーツ教室等の場面において、体力や年齢、技術レベルに応じて指導することができる人やスポーツイベントにボランティアとして関わりたい人を登録し、派遣できる体制を整備する。

2 進め方（方向性）

(1) まずは、学校運動部活動に派遣することができるよう準備を進める。

地域移行後も指導したい現役の教職員や元教職員にバンクへの登録をさせていただき体制を整えるとともに、研修をした上で派遣できるよう体制を整える。

(2) 次に、各種スポーツ団体や地域スポーツ活動、また個人や家族に派遣することができるよう準備をする。

(3) 指導者の登録にあたっては、適切な指導のできる者を認定するよう登録条件を整備するとともに、指導者の資質の維持・向上を図れるよう定期的に講習会を受講するようにする。

(4) 登録及び派遣にあたっては、年齢区分（小学生、中学生、高校・一般、高齢者）や技術レベル（競技・趣味的）に応じた様々な依頼に対応できる制度とする。

3 スポーツ指導者バンクが必要な理由

(1) 指導者の確保

この先の中学校部活動の地域移行は、生徒にも教職員にもメリットがあるが、これまで教職員が担ってきた指導者を地域で補っていかなければならない課題があり、スポーツ団体のみならず、地域や大学、企業なども含め、市全体から指導者を発掘し、確保する必要がある。

また、近年、スポーツニーズの高度化・多様化に伴い、安全で適切な指導を行うことができる指導者を確保する必要がある。

(2) 指導者の資質の向上

学校部活動において、すでに外部指導者を導入している学校では、指導面（教育的観点、人権問題）においてのトラブルの話聞くことから、生徒の安全を守ることも重要な役割であり、そうした指導者の育成を図る必要がある。

また、市全体の指導者の資質を向上させることが、子どもたちの成長や市全体のスポーツ力の向上につながることから、指導者が学べる機会の提供や体制を整える必要がある。

3 制度設計に向けて

(1) 全体イメージについて（別添：イメージ図）

(2) 制度設計に向けて

- ・ スケジュール
- ・ 指導者の確保のアイデア
- ・ 指導者の育成（研修）のアイデア

